



藤本泰成さん

改憲ではなく「今こそ平和を守れ！」

憲法施行から75年を迎えた憲法記念日の5月3日(火)、2022年5・3憲法大集会が東京の有明防災公園で開催され、1万5000人が参加しました。過去2年はコロナ禍で中止され、2019年以

来3年ぶり。主催は「平和といのちと人権を! 5・3憲法集会実行委員会」。

オープニングは京都在住のシンガーソングライターの川口真由美さんのライブ。



集会プログラム

オープニング ①川口真由美ライブ「未来への夢こわすんじゃねえ!!!!!!」
②川口真由美と共に歌う「ケサラ」

開会 司会 松村真澄さん・高木陽介さん

主催者あいさつ 藤本泰成さん(5・3憲法集会実行委員会)

ウクライナ特別決議 菱山南帆子さん(5・3憲法集会実行委員会)

国会議員あいさつ 福島みずほ参院議員、奥野総一郎衆院議員、志位和夫衆院議員

スピーチ ①憲法審査会—大江京子さん(改憲問題対策法律家6団体連絡会)
②ジェンダー—小川たまかさん(フリーライター)
③沖縄・日米地位協定—高嶋伸欣さん(琉球大学名誉教授)
④貧困・労働問題—竹信三恵子さん(ジャーナリスト・和光大学名誉教授)

市民連合連帯あいさつ 中野晃一さん(上智大学国際教養学部教授)

行動提起 ※パレード案内含む 米山淳子さん(5・3憲法集会実行委員会)

終了クロージング 「HEIWAの鐘」合唱
～みんなで歌おう自由と平和のうた～

軍事力・核武装ではなく
大切なのは平和と外交だ!

主催者を代表して藤本泰成さんは「私たちはロシアによるウクライナ侵攻に対し、武力による威嚇、武力の行使は国連憲章に違反し決して許すことはできない。戦いが長期化するれば市民の犠牲が更に増える。世界が一致して停戦への移行・平和への構築が急務。これまでの戦争で世界は自衛権の行使を否定していないが

日本は憲法9条で自衛権の発動も交戦権も放棄していることを私たちは決して忘れてはならない。仮に敵基地攻撃能力を保持し、核兵器を所有しても国民の命は守れない。圧倒的な軍事力の保有は国民生活を圧迫し他国の脅威とされ地域の平和は守れない。大切なのは平和外交だ」など警鐘を鳴らした。

敵基地攻撃・軍備増強で平和は守れない！

福島みずほ党首スピーチ

国会議員あいさつで、福島みずほ参院議員社民党党首は「憲法9条は戦争の惨禍を二度とおこさない、不戦の誓いによって作られた。ウクライナへのロシアの侵攻、中国・北朝鮮を例に挙げて軍備の増強、緊張状態を煽っている。防衛予算を一〇兆円にしたら社会保障費、教育予算を削減するのは明らか。自公政権は憲法擁護義務違反。7月参院選挙で、主権者である私たちが声を挙げ、力を合わせて憲法を変えさせないために、平和・いのち・くらしを守るために共に頑張ろう」など呼びかけました。



右から福島みずほ参議院議員、奥野総一郎衆議院議員、志位和夫衆院議員



国会議員からのあいさつでは立憲民主党から奥野総一郎衆院議員、志位和夫衆院議員(日本共産党委員長)からスピーチを頂きました。全員の方の紹介が紙面の関係上でできませんでしたが、まことに申し訳ありません。お詫び申し上げます。

集会スローガン

私たちは

- ・コロナ禍の中で、ひとり一人のいのちと暮らしを守ることを求めます。
 - ・個人の尊厳を守り、貧困と格差・差別のない社会をめざします。
 - ・9条改憲発議を許さず、立憲主義の確立をめざします。
 - ・日本国憲法を守り「戦争法」「秘密保護法」「共謀罪」「重要土地規制法」などの廃止を求めます。
 - ・沖縄の民意を踏みにじる辺野古新基地建設の即時中止を求めます。
 - ・敵基地攻撃能力の保有を許さず、東北アジアの非核と平和の確立をめざします。
 - ・原発事故を忘れず、脱原発・脱炭素・持続可能な社会をめざします。
 - ・ジェンダー平等を実現し、あらゆる性差別のない社会をめざします。
 - ・これらを実現するために行動し、政治の暴走にストップをかけます。
- ※市民と野党の共同で参議院選挙に勝利し、政治を変えよう。



菱山南帆子さん



小川タマカさん



竹信三恵子さん



高崎伸敏さん



中野寛一さん



米山淳子さん

